

		<p>訪問先: とかちペレット協同組合、足寄町庁舎、あしよろ子どもセンター他</p> <p>審査内容: (1)本プロジェクトが、プロジェクト計画書及び同別紙モニタリング計画書並びにモニタリング報告書(Ver.1.1)記載の通り実施されているかの確認を現地視察、プロジェクト関係者へのインタビューにより実施。特に、モニタリング体制、購買伝票等のデータの確認状況、並びに QA/QC 体制について確認した。 (2)モニタリング報告書記載の算定結果を集計データによってチェックすると共に、その適格性(適用デフォルト値を含む)、購買伝票等の確認記録について検証を行った。特に、 <ベースライン排出活動> 木質ペレットの使用量、同単位発熱量他 <プロジェクト排出活動> 木質ペレットの販売実績量、燃料(軽油及び灯油)購入量、及び電力使用量他</p>				
排出削減・ 吸収量	年度	2008	2009 (2010/1/1~)	2010	2011 (~6/30)	2012
	t-CO2	—	377			—
検証結果の要約		<p>JACO CDM は、足寄町役場新庁舎及びあしよろ子どもセンターの建設にともない、冬期間の暖房燃料を木質ペレットによる大型ボイラーとし、新庁舎に隣接する消防庁舎と合わせて、木質ペレットボイラーを導入し、その燃料として足寄町内産のこれまで放置されていた未利用林地残材をペレットの原材料として使用し、二酸化炭素削減を図り、地球温暖化対策の普及啓発を図るとともに、環境に優しい地域の資源で子供たちを育む森林源循環型社会の形成を目的とする本プロジェクトにおいてモニタリング期間(2010年1月1日~2011年6月30日)における温室効果ガス排出削減量を検証した。</p> <p>検証の結果、本プロジェクトに関する「モニタリング報告書(Ver.1.1)」は、「モニタリング方法ガイドライン(排出削減プロジェクト用) Ver3.0」、及び方法論(E002「化石燃料から木質ペレットへのボイラー等の燃料代替」Ver.6.0)に準拠していることを確認した。また、同報告書に記載された温室効果ガス排出削減量377t-CO₂は、プロジェクト計画書及びモニタリング計画書に基づいて算定されており、J-VER制度妥当性確認・検証ガイドラインVer2.0に規定する重要性の判断基準である5%以内であることを確認した。</p> <p>以上のことから、検証意見は無限定適正意見であることを表明する。</p>				

ⁱ 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。